

Anti-mouse G9a /Ehmt2 mouse monoclonal antibody

G9a: Euchromatic histone-lysine N-methyltransferase 2

製品コード PP-A8620A-00

Clone No. A8620A

Lot. A-2

濃度 1mg/mL

容量 100μL

Ig class G2a

Genbank AB077209

由来 マウスG9a (15-114 aa) のBaculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。

Epitope

特異性 マウスG9aと特異的に反応する。ヒトG9aと交差反応する。その他の動物種との交差反応は未検討。

精製法 硫酸塩析法

溶媒 生理的食塩水
防腐剤として0.1% NaN3添加

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot 可
参考使用濃度 0.5 μg/mL

非還元 Western Blot 未検討
参考使用濃度 -

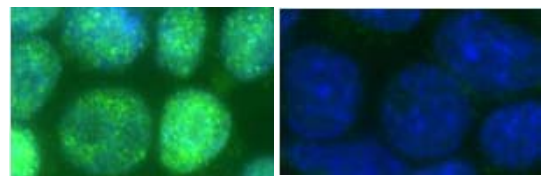
ELISA 可
参考使用濃度 0.1 μg/mL

免疫沈降 可
参考使用濃度 適宜調整してください

Supershift Assay 未検討
参考使用濃度 -

クロマチン免疫沈降 未検討
参考使用濃度 -

免疫染色 可
参考使用濃度 5 μg/mL



WTマウス
ES細胞
(陽性)

G9a KOマウス
ES細胞
(陰性)

保存方法 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8°Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20°C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献 Tachibana M. *et al.* Genes Dev, 2005; 19(7): 815-26

備考 溶媒に含まれるNaN3は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Dec 21, 2016